

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会  
地域共生型社会推進事業助成金

## 事業完了報告書（公開用）

### 1、概要

報告日	西暦 2019 年 4 月 25 日
報告者	西山 栄二
助成団体名 (所属団体名)	特定非営利活動法人 東近江スポーツクラブ楽苦備
団体住所	〒 527-0024 滋賀 都道府県 東近江市札の辻二丁目9番10号
団体電話番号	0748 — 23 — 5234
代表者 (助成対象者)	西山 栄二
助成対象事業	三世代交流とインクルーシブ・コミュニティスポーツの輪づくり
事業（助成）期間	2016 年 4 月 1 日 ~ 2019 年 3 月 31 日
事業費総額	1,238,404 円
助成金総額	900,000 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

#### 注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は**必ず撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま [shigakyo@cello.ocn.ne.jp](mailto:shigakyo@cello.ocn.ne.jp) へメールにてお送りください。

## 2、事業内容

- ・発達障がいの子どもが引きこもりになり、外でみんなと一緒に遊ぶ機会が少ない現状と運動を得意とする子と苦手な子との差が広がる現状を認識し、地域に根付いた活動で三世代（高齢者・保護者・子ども）で楽しめるコミュニティスポーツ（タグ取りゲーム）を通じてキラリと輝く子どもたちの育成と発達障がいの子ども保護者が健康で健やかに生きていくための応援と差別や偏見のない地域社会の構築を実施しました。
- ・コミュニティスポーツの輪づくりとして、タグラグビー競技スポーツを通じてクリスマス CUP 交流会や餅つき大会交流会を行い、障がいのある無しに関わらず同じフィールドで共に学び共に楽しむことで差別や偏見のない社会秩序を身につけ子供たちが見て・知って・体験して体感することで子どもたちの情操教育に努め、高齢者が子どもたちと触れ合うことで認知症予防に努め心のケアと体力向上に努めました。
- ・天然芝の下、近隣府県の幼稚園児～小学生・中学生・大人が集まり、タグラグビー（しっぽ取りゲーム）を楽しみ中には、親子でスポーツ（タグラグビー）を楽しみながら共に成長できる機会を提供し親子と一緒に楽しみ多くの可能性を見つけ子どもたちが色々と選択肢を持ち色々なスポーツを通じて、楽しく継続できる環境で愛することの手助けをしました
- ・スポーツメンタルトレーニング心のケアとして、びわこ学院大学スポーツ教育学科講師の先生により子どもの心を豊かにする方法～「大切な試合の時に緊張しすぎて頭が真っ白になる。どうしたらいいの?」「集中力が続かない。どうしたらいいの?」スポーツの場面では、このような「問題はわかっているでもその解決策がわからない」ことが珍しくなく、このような時に必要なことが「頭の中を整理していくこと」であり、役立つ思考整理術『心を表すマインドマップの活用方法』の講演をして頂きました。
- ・数回にわたりマインドマップ作成術を教わり、又、親子でできる心のエクササイズの講演の中で、ボールを使って集中力 UP の講習会などを紹介出来ましたこと、少しでも親子の絆づくりが出来たと思います。
- ・地域小学校の体育科学習授業や PTA 活動で関係者理解の下、コミュニティスポーツとしてタグラグビーの指導を行い、競技性の追求だけでなく体を動かすことの楽しさを伝え、三世代でスポーツを楽しみながら、共に成長し人の温かさを知り多くの可能性を感じてもらおう環境整備が出来たと思います。
- ・地域のイベント開催に積極的に参加「八日市コミュニティセンターのコミセン祭り」や「東近江まちづくり協議会のわくわくこらぼ村」などで演武を披露しました。

### 3、事業成果

- ・数回にわたり、発達障がいの子どもの対象のタグラグビー（タグ取りゲーム）教室では、中学生の生徒が応援指導に参加し、びわこ学院大学教育福祉学部子ども学科講師の先生指導のもと開催出来ました。
- ・発達障がいの子どもの引きこもりがちになりみんなと一緒に遊ぶ機会が少ない現状で、発達障がいの子どもの集中力が無くコミュニケーションが取れずいつもお母さんを盾にしてしか行動できなかった子どもが、障がいの有無にかかわらず同じフィールドで共に学び共に楽しむ環境整備の中で、子ども親御さんが環境に慣れ親しんだ上で、週1回開催しています「タグラグビー体験教室」に参加し楽しんでます。
- ・また、常に子供に付き添い見守り優しく接していたお母さんが、教室期間中は私たち仲間に預け、子どもたちみんな一緒に行動する為、お母さんがその間自由に自分の時間を確保できる環境になりました。子供たちは、みんなとなじめない子や暴力的な子がルールを学び優しくなり、家族の絆と子どもの生きる力を育むようになりました。
- ・体力向上については、体力測定会を実施（立ち幅跳び・上体お越し・腕立て伏せ・往復走・5分間走）を続けて測定することで、ランクアップしていることが目の当たりに感じられます。
- ・コミュニティスポーツ（タグラグビー）を通じて、近隣府県の幼稚園児～小学生が天然芝の下（毎回80人前後の子供が参加）、集まり色んなイベントの中、楽しく親睦ができ仲間意識が芽生え「人間力とフェアプレイ」の構築に寄与出来たと思います。
- ・子どもや保護者が健康で健やかに生きていくための応援と差別や偏見のない地域社会の構築が出来上がりつつあり嬉しく感じます。

#### 4、今後の課題など

- 地区小学校 22校にコミュニティスポーツ（タグラグビー）を通じて、あらゆる可能性を身に着け家族の絆づくりや多種目スポーツを楽しく継続しつつスポーツを愛する手助けをしていきたいと思えます。
- 地域住民を巻き込んだインクルーシブ・コミュニティスポーツ交流会「タグラグビー CUP」を医療関係・地域企業がインクルーシブな活動を通じて、あらゆる専門分野を巻き込み啓発普及活動へと逆境の子へスポーツの力で道が開け、精神障がい者や発達障がいの人が働きやすい環境、職場づくりの中で障がい者と健常者が共存し、スポーツを楽しむ環境が出来上がるようにしたいと思えます。
- 2024年滋賀県で開催される「全国障害者スポーツ大会」に向けて、障がいのある選手を支えていく多くの指導者・ボランティアを私たちの仲間から声上がるような体制づくりをしていけたら大変うれしく思えます。